

みずほCustomer Desk Report 2025/02/17号(As of 2025/02/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	152.90
TKY 9:00AM	152.97	1.0463	159.90	GBP/USD	1.2567
SYD-NY High	153.13	1.0514	160.25	AUD/USD	0.6317
SYD-NY Low	152.03	1.0448	159.50		
NY 5:00 PM	152.33	1.0491	159.83		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,546.08	▲ 165.35	日本2年債	0.7900%	0.0000%
NASDAQ	20,026.77	81.13	日本10年債	1.3500%	0.0000%
S&P	6,114.63	▲ 0.44	米国2年債	4.2600%	▲0.0478%
日経平均	39,149.43	▲ 312.04	米国5年債	4.3283%	▲0.0620%
TOPIX	2,759.21	▲ 6.38	米国10年債	4.4772%	▲0.0545%
シカゴ日経先物	39,125.00	▲ 390.00	独10年債	2.4230%	0.0040%
ロンドンFT	8,732.46	▲ 32.26	英10年債	4.4990%	0.0090%
DAX	22,513.42	▲ 98.60	豪10年債	4.4320%	▲0.0570%
ハンセン指数	22,620.33	805.96	USDJPY 1M Vol	9.50%	▲0.33%
上海総合	3,346.72	14.24	USDJPY 3M Vol	9.86%	▲0.22%
NY金	2,900.70	▲ 44.70	USDJPY 6M Vol	9.83%	▲0.12%
WTI	70.74	▲ 0.55	USDJPY 1M 25RR	▲1.25%	Yen Call Over
CRB指数	312.08	▲ 1.12	EURJPY 3M Vol	10.08%	▲0.60%
ドルインデックス	106.71	▲ 0.60	EURJPY 6M Vol	10.05%	▲0.43%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月14日	19:00	欧 GDP(前年比/前期比)・速報	4Q 0.9%/0.1%	0.9%/0.0%
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	1月 -0.9%	-0.2%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	1月 -0.4%	0.3%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 0.5%	0.3%
2月15日	05:00	米 ローガン・ダラス連銀総裁 講演	「インフレ鈍化が利下げ促すとは限らない」	

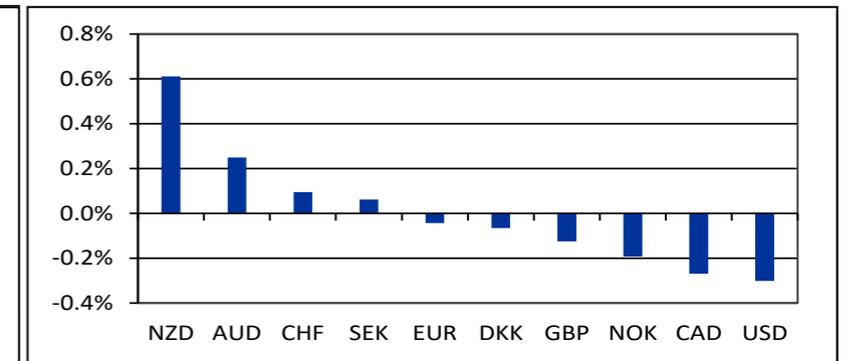
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月17日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	4Q 1.1%	1.2%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	4Q 0.3%	0.3%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	4Q 2.8%	2.4%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	12月 -	0.3%/-1.1%
	23:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
2月18日	00:20	米 ボウマンFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.50-153.50	1.0450-1.0530	158.30-161.70

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は下落。取引開始前に高値153.13円をつけると、赤沢経済再生担当相の円安けん制発言により円買い優勢に。海外時間では米1月小売売上高が市場予想対比悪化したことを受け、急落する米金利に連れられて152.03円までドル売りが進んだ後、152.33円まで値を戻してクローズ。本日のドル円は材料難のなかで方向感に欠ける展開とみる。米関税政策を巡る懸念は一服感がみられるも、米露で独断的に進むウクライナ侵攻の停戦交渉や、イスラエルのハマスとの停戦合意破棄懸念など、茲許の地政学的リスクを巡るヘッドラインには警戒したい。もっとも、リスクオフ局面ではドル、円ともに買われる展開が想定され、ドル円の値幅は限定的となる。

東京	シブニ時間に買いが進みドル円は朝方153.13の高値を付ける場面もあったが、その後は下落し、東京時間のドル円は152.97レベルでオープン。その後もドルが弱含み公示後は152.45まで売られる。午後はドルが持ち直す場面もあったが、方向性に乏しく結局152.62レベルで欧州に渡った。
ロンドン	米国時間に発表される1月小売売上高の発表を控え、市場は様子見となった。ドル円は152.62レベルで始まり、152.39から152.83の間で取引され、152.74レベルでニューヨークに渡った。ユーロドルは1.04台半ばで小幅推移した。1.0456レベルで始まり1.0472レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円台後半でスタート。米金利の低下や、日経平均株価の軟調な展開が重しとなり、152.74レベルでNYオープン。朝方に発表された米1月小売売上高(前月比)が予想を下回り、米景気減速懸念が強まり、米金利の低下に伴った売りが優勢となり、152.03まで値を下げた。午後は売り一巡となった事や、米株が低下幅を縮小する動きを背景に152.30付近まで反発し、152.33レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.04台半ばでスタート。独金利の上昇を横目にじり高で推移し、1.0472レベルでNYオープン。朝方に発表された予想を下回った米1月小売売上高の結果を受け、ドルが売られる中、1.0514まで上伸。午後は米国が連休を控える中、1.0490付近まで小幅反落し、1.0491レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。